

(1)都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

	変更		変更前	変更後	変更理由
	あり	なし			
A. まちづくりの目標		●			
B. 目標を定量化する指標		●			
C. 目標値		●			
D. その他( )		●			

(2)都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業											
事業	事業箇所名	当初計画		モニタリング時		当初計画からの 変更の概要※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、 数値目標等への影響	モニタリング時の状況			今後の事業見込み
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			未着手	事業中	完成	
道路	泉町4丁目東仲通り	23	歩道改良 L=357m	17	歩道改良 L=344m	設計・入札による事業費の減 実施設計による延長の訂正	特段なし			●	計画通りに完成
	東町1丁目本通り	12	歩道改良 L=184m	29	歩道改良 L=184m	H24補正予算に係る事業前倒しに よる事業期間変更及び事業費の増 加	特段なし			●	計画通りに完成
	東町2丁目通り	17	歩道改良 L=260m	25	歩道改良 L=260m	H24補正予算に係る事業前倒しに よる事業期間変更及び事業費の増 加	特段なし			●	計画通りに完成
	4丁目北通り	20	局部改良 L=127m	37	局部改良 L=282m	いずみ野団地4次分譲計画の実施 による事業量の増加。 それに伴う事業期間の延長及び事 業費の増加。	特段なし			●	計画通りに完成
	新町北本通り	33	歩道改良 L=355m	36	歩道改良 L=355m	H24補正予算に係る事業前倒しに よる事業期間変更及び事業費の増 加	特段なし			●	計画通りに完成
	仲町北仲通り	33	歩道改良 L=355m	33	歩道改良 L=355m	H25補正予算に係る事業前倒しに よる事業期間変更及び事業費の増 加	特段なし		●		H27完成に向けて事業 推進
	2丁目仲通り	18	局部改良 L=115m	16	局部改良 L=118m	設計・入札による事業費の減 実施設計による延長の訂正	特段なし			●	計画通りに完成
	元町仲通り	44	局部改良 L=285m	36	局部改良 L=285m	設計・入札による事業費の減	特段なし			●	計画通りに完成
	泉町4丁目本通り	-	なし	21	局部改良 L=150m	H23に計画変更して追加 H24補正予算に係る事業前倒しに よる事業期間変更	特段なし			●	計画通りに完成
	泉町4丁目西通り	-	なし	26	局部改良 L=140m	H24に計画変更して追加 H24補正予算に係る事業期間変更	特段なし			●	計画通りに完成
地域生活 基盤施設	農芸公園	50	A=150.159㎡	70	A=150.159㎡	設計変更による事業費の増	-		●		H27完成に向けて事業 推進

提案事業											
事業	細項目	当初計画		モニタリング時		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、 数値目標等への影響	モニタリング時の状況			今後の事業見込み
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			未着手	事業中	完成	
地域創造 支援事業											
事業活用調査											
まちづくり 活動推進事業											

(参考)関連事業									
事業	細項目	事業箇所名	事業費		事業期間		進捗状況及び所見	備考	
			当初計画	モニタリング時	当初計画	モニタリング時			
花と芝生のまちづくり推進事業		鹿追町	35	35	H23～H27	H23～H27	事業実施中。今後も継続して実施予定		

(3)都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

指標	単位	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		目標値 (ウ)		モニタリング (エ)		データの計測手法と モニタリング値の求め方 (時期、場所、実施主体、 対象、具体手法等)	現段階での 目標達成 見込み		総合所見	今後の方針
		基準 年度	基準 年度	基準 年度	目標 年度	実施 年度	実施 年度	あり	なし					
周辺観光施設 の利用者数	人/年	210,561	H16	210,000	H21	217,000	H27	205,396	H26	道の駅しかおい利用者数の計測 (H25年度実績)	●		道東自動車道の延伸や無料化社会実験など近年の大幅な交通網の変化により、国道沿線の交通量の減少が影響しているとみられる。目標を達成するためには、町の魅力を一層高めることが必要。	町の玄関口である道の駅により多くの方に立ち寄っていただけるよう、景観の良さや接客、サービスといった魅力を高めていく。
観光入込客数	人/年	611,100	H11	709,100	H21	734,000	H27	805,400	H26	鹿追町の観光入込客数 (H25年度実績)	●		道東自動車道の延伸や無料化社会実験など近年の大幅な交通網の変化により、国道沿線の交通量の減少が影響しているとみられる。目標を達成するためには、町の魅力を一層高めることが必要。	農芸公園の整備等を通じ、観光客の増加を図る。
定住者人口	人	6,206	H11	5,694	H21	5,500	H27	5,598	H26	住民基本台帳人口 (H26.3.31)	●		いずみ野団地周辺の道路整備など定住促進に係る事業の効果が現れている。	定住人口の減少を最小限に食い止められるよう、事業を継続して行う。

※1 計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

(4)参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

・道路及び歩道の改良・新設を行ったことで、地域住民の安心安全が向上した。また、交通の快適性が向上した。

(5) 実施過程の評価

① モニタリングの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の方針等
毎度計画進捗状況モニタリング	予定どおり実施した	● ・実施時期:平成26年内 ・実施内容:指標状況の確認 実施事業の整理及び課題の解決状況の確認 住民への実施状況の公表	・名年度同様のモニタリングを実施、公表 ・中間年度でのモニタリング実施 ・最終年度又は翌年度での事後評価実施
	予定はなかったが実施した		
	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		

② 住民参加プロセスの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の方針等
	予定どおり実施した	●	
	予定はなかったが実施した		
	モニタリング時点では実施していない		
	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	モニタリング時点では実施していない		

③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	構築状況	実施頻度・実施時期・実施結果		今後の方針等
		i. 体制構築に向けた取組内容	ii. まちづくり組織名:組織の概要	
官民一体となった、町の景観・環境整備	予定どおり実施した	● 既に組織済	花と芝生のまちづくり推進協議会 鹿追町環境推進協力会	これまでも、花と芝生のまちづくりの推進や環境美化の推進に官民一体で取り組んでおり、引き続き実施していく。
	予定はなかったが実施した			
	モニタリング時点では実施していない			
	予定どおり実施した			
	予定はなかったが実施した			
	モニタリング時点では実施していない			

(6) 毎年度モニタリングの所見

① まちの課題の変化

事業前の課題 都市再生整備計画に記載 したまちの課題	モニタリングの時点で達成されたこと (課題の改善状況)	交付期間中に解決すべき 残された課題	交付期間中に発生した 新たな課題
既存の町内の住宅地における道路・歩道を整備していくことで、歩行者・運転者の安全性及び快適性の向上を図る必要がある。	既存の町内の住宅地における道路の改修、歩道の新設を実施し、歩行者・運転者の安全性及び快適性の向上を図ることができた。	改修の必要な箇所引き続き実施していく必要がある。	①町への定住促進を図るために、「いずみ野団地4次分譲(22区画)」を実施。分譲地の造成・開発のために道路の新設が必要となった。 →都市再生整備計画の変更を行った。
景観及び環境美化(ソフト)と併せて道路・歩道の整備(ハード)を実施していくことで、より一体的かつ効果的な景観整備をし、魅力的な「まちなか」を形成していく必要がある。	歩道の新設の際に、植樹帯を設けたり、歩道の縁石高の工夫を図るなどして、景観形成に努めた。	道路改良時等に引き続き、景観形成に配慮をしていく必要がある。	
市街地中心部の観光施設を強化していくことで、市街地中心部の観光施設及び商業施設の利用促進はもとより、花と芝生のまちづくりにおける景観形成と一体となった観光地づくりを行っていく必要がある。	特に無し。	農芸公園の整備を進めており、町民の憩いの場、花と芝生のまちづくりの拠点、観光施設としての多様性をもった公園となる予定である。	

② 総合所見・今後の事業の改善点

総合所見		今後の事業の改善点		
		具体的項目	内容	
順調	●	事業の進め方の工夫	特に無し	住民の意見・要望、行政としての事業の必要性・緊急性を勘案しながら、都市再生整備計画を策定しており、事業の実施に当たっては事業担当課が地域住民と意見交換を行いながら事業を実施している。今後も、同様に事業を進めていくこととしている。
計画・事業の進め方の改善が必要				
モニタリング時点では、大きな改善が必要な事項はないと思われる。		都市再生整備計画の見直しの必要性	特に無し	